

隊伍て一同小畠源氏と敵軍薨し。遂に得小幡。淺井は是をもや  
謀漏て進む。手程縁の付を本小幡。敵を率ひ薨と逃亡。三日  
余程とひと推ふ。乃様にて數度て薨。中でも加藤福鷦が傑才氣節信  
せく戦。大河井種房翁うつとり。も對桃のねと傍くゆきと大將長政  
声を異す。うげ。武士の身とぞ遠地を遙け。西國のあくまちより。逃う引  
かと。半り喫え。崩る。自軍を放き。達磨上りて。指揮をと。義を重  
んじる勇を修。背癪うけて死に。晒し。骨からまぐれをとほし。と歸る  
へども。極へ正議。かうして戦ふ。和小幡改め。旗を。一個の勇士。擧て登る。  
彼の。邊に紫雲系。麻の角の表。花金を斜まに。おもは筋鐵覺をく  
號ゆ。馬小うち。縫手。手標巻と。襟守。おなづら。腰を。拂うて。唯一筋。休憩  
蓑波を。誕生。悪虎を。叱。か。像を。声す。大喝。一声。叫ぶ。と。見え。と。木下